

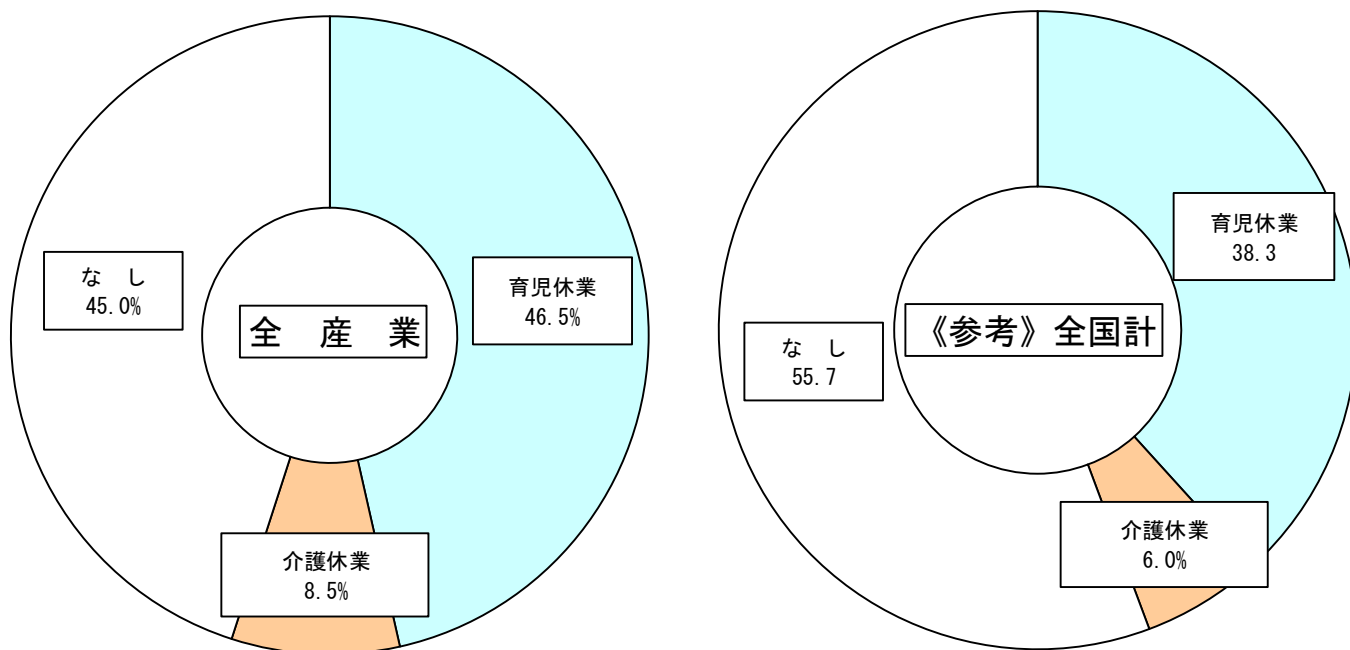
14. 育児・介護休業制度

① 育児・介護休業の取得状況

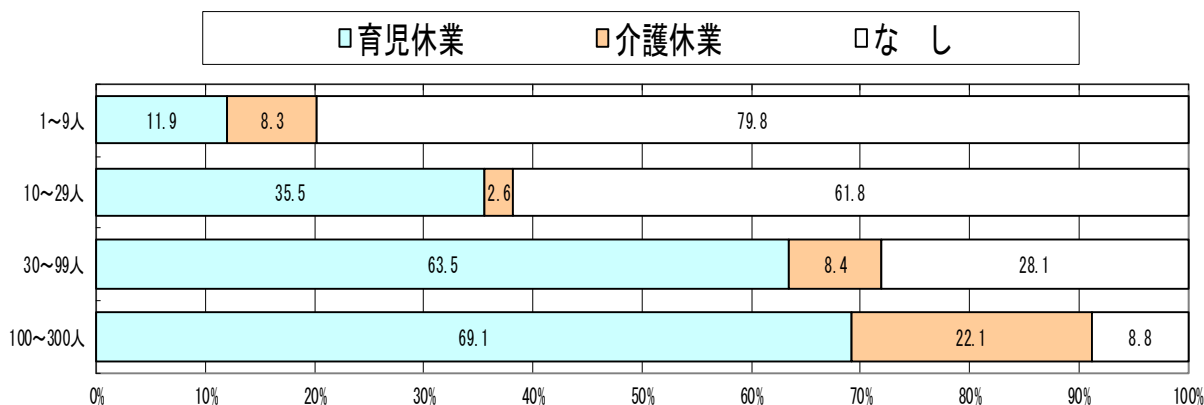
育児・介護休業の取得状況について、全産業で「育児休業」を取得した従業員がいると回答した事業所は46.5%、「介護休業」を取得した従業員がいると回答した事業所は8.5%となっている。

従業員規模別でみると、育児・介護休業を取得した従業員がいると回答した事業所は、「1～9人」で20.2%、「10～29人」で38.1%、「30～99人」で71.9%、「100～300人」で91.2%となっている。

第26図表 育児・介護休業の取得状況（全産業）



第27図表 育児・介護休業の取得状況（従業員規模別）

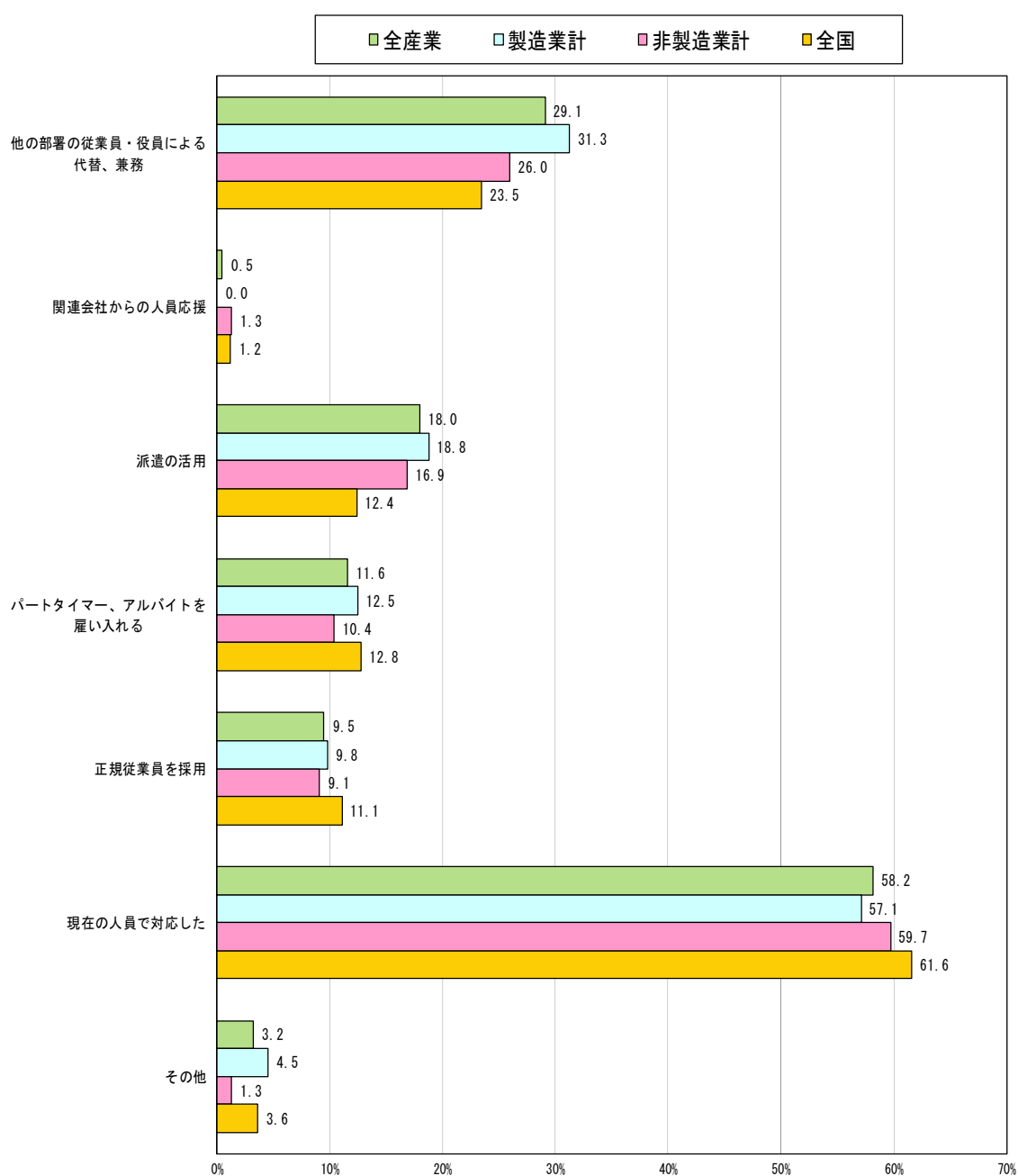


②育児・介護休業制度を取得した従業員の代替要員

育児・介護休業制度を取得した従業員の代替要員については、全産業で「現在の人員で対応した」とする回答が58.2%で最も多く、以下「他の部署の従業員・役員による代替、兼務」が29.1%、「派遣の活用」が18.0%と続いている。

業種別では、「現在の人員で対応した」が製造業計で57.1%、非製造業計で59.7%とともに最も多くなっている。

第 28 図表 育児・介護休業制度を取得した従業員の代替要員（複数回答）



③出生時育児休業制度（産後パパ育休）の対象者への対応

出生時育児休業制度（産後パパ育休）の対象者への対応は、全産業で「特に実施していない（予定もない）」とする回答が36.8%で最も多く、以下「就業規則、労使協定など現行制度を改正する（した）」が27.4%、「対象者の把握に努めている」が19.7%と続いている。

業種別では、「特に実施していない（予定もない）」が製造業計で39.7%、非製造業計で33.1%とともに最も多くなっている。

第29図表 出生時育児休業制度（産後パパ育休）の対象者への対応（複数回答）

